



2025年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年6月13日

上場会社名 株式会社笑美面 上場取引所 東
コード番号 9237 URL <https://emimen.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 榎並 将志
問合せ先責任者（役職名） 取締役コーポレート本部長（氏名） 木下 裕司（TEL）06-6459-0777
半期報告書提出予定日 2025年6月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年10月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年11月1日～2025年4月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期中間期	855	—	29	—	29	—	38	—
2024年10月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年10月期中間期 38百万円（—%） 2024年10月期中間期 —百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期中間期	18.90	18.64
2024年10月期中間期	—	—

（注） 当社は、2025年10月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年10月期中間期の数値及び前年中間期増減率並びに2025年10月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期中間期	1,206	758	62.8
2024年10月期	—	—	—

（参考）自己資本 2025年10月期中間期 758百万円 2024年10月期 —百万円

（注） 当社は、2025年10月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年10月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年10月期	—	0.00	—	—	—
2025年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,035	—	261	—	259	—	224	—	110.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社ケアサンク
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年10月期中間期	2,026,090株	2024年10月期	2,025,190株
② 期末自己株式数	2025年10月期中間期	135株	2024年10月期	80株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年10月期中間期	2,025,107株	2024年10月期中間期	1,999,118株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期における経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間期における経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社グループは当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加を背景に、景気の緩やかな回復が進んでおります。一方で物価上昇や米国政策の変化に伴う懸念、地政学リスクの高まりなど、依然として、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する介護及び医療環境につきましては、介護保険法や保険外介護サービスの充実によって要介護者へのサービスは増加し、民間運営による多種多様なシニアホームも増加しています。一方、在宅介護を担う介護家族の介護負担状況は、ビジネスケアラー約318万人(※1)、老老介護約200万人(※2)、ヤングケアラー約32万人(※3)に達するなど、在宅介護を担う介護家族への支援は不足している状況にあります。また、シニアホームの入居検討においては、適切な情報収集が困難なためにシニアホーム入居に対する誤解等により躊躇や諦めが起こっているケースもあり、介護する側の介護家族においても共倒れのリスクをはらんでおります。

※1 2030年予測 経済産業省「新しい健康社会の実現」(令和5年3月)より抜粋。

※2 2030年予測 65歳以上の要介護認定者数(厚生労働省「介護保険事業状況報告」(令和5年5月分))に、同居介護率及び同居介護内に占める当該割合(厚生労働省「国民生活調査」(令和4年))を乗じ試算。

※3 文部科学省「令和4年学校基本調査」における中学生・高校生の生徒数に、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「ヤングケアラーの実態に関する調査報告書」における世話をしている家族がいる率を乗じ試算。

このような環境のもと、当社グループは介護家族の負担を軽減すべく、介護家族が高齢者に対する「心の介護」に専念できるよう「介護家族にとって、シニアホームの利用が『ポジティブ/当たり前』になっている状態」を目指し、コーディネーターによる対面相談「家族会議」を経て最適な入居支援を無料で行う「シニアホーム紹介サービス」と、安心して入居できる質の高いシニアホームを増やすため「シニアホーム運営コンサルティング」の継続的なサービス提供に努めてまいりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

(シニアライフサポートサービス)

当中間連結会計期間においては、病院に在籍する退院支援等を担うメディカルソーシャルワーカー(MSW)からの「紹介数」が5,956件(前年同期比65.0%増)、介護家族にとって納得あるシニアホーム選びに欠かせない「家族会議実施数」は4,229件(前年同期比56.3%増)、入居成約数である「スマイル数」は2,179件(前年同期比41.2%増)とそれぞれ拡大いたしました。プラットフォームサイト登録数においては、2025年10月期計画8,000ホームを上回る、8,869ホームまで登録が進みました。

当事業では、入居支援を担うコーディネーターの採用&育成が社会課題解決を加速させると考え、前期同様に積極採用を実施しオンボーディングを進めてまいりました。

以上の結果、営業収益は713,112千円となりました。

営業費用は、コーディネーターを上半期に集中して行う方針により、採用活動に注力したことで、採用費が60,657千円発生するなどコストが先行しました。その結果、セグメント損失は41,360千円となりました。

(シニアホームコンサルティングサービス)

2024年9月にサービスの質の高いシニアホームを世の中に増やすことを目的とし、株式会社笑美面からシニアホーム新規開設コンサルティングサービスを独立させ、株式会社ケアサンクを設立いたしました。当中間連結会計期間より連結の範囲に含め、シニアホーム新規開設コンサルティングサービスを中心にサービスを拡充し展開してお

ります。

当中間連結会計期間は、案件の獲得と成約が順調に進み、営業収益は142,539千円となりました。営業費用は、案件の成約が増えたことにより計画より増加いたしました。営業収益の増加が吸収し、セグメント利益は71,173千円となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の営業収益は855,652千円となりました。

営業費用は、シニアライフサポートサービスでの人員の増加等により825,795千円となり、投資が先行した結果営業利益は29,856千円となりました。また、経常利益は29,345千円、法人税等調整額を含む法人税等合計の影響により親会社株主に帰属する中間純利益は38,277千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産は1,206,837千円となりました。

流動資産は1,044,906千円となりました。主な内訳は、現金及び預金766,157千円、売掛金225,545千円です。

固定資産は160,305千円となりました。主な内訳は、繰延税金資産77,672千円であります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は448,530千円となりました。

流動負債は352,158千円となりました。主な内訳は、未払金102,238千円、未払費用75,363千円です。

固定負債は96,371千円となりました。主な内訳は、長期借入金78,313千円であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は758,306千円となりました。主な内訳は、資本金268,553千円、資本準備金218,553千円、利益剰余金271,497千円であります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は766,157千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は24,045千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益29,345千円の計上及び未払金の増加31,575千円により資金が増加したものの、法人税等の支払25,956千円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は14,345千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による6,889千円の支出、敷金及び保証金の差入による支出5,406千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は11,760千円となりました。これは主に、長期借入金の返済により12,642千円の支出があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の業績予想につきましては、2024年12月13日に公表いたしました通期業績予想から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	766,157
売掛金	225,545
その他	53,955
貸倒引当金	△752
流動資産合計	1,044,906
固定資産	
有形固定資産	29,062
無形固定資産	14,502
投資その他の資産	
繰延税金資産	77,672
その他	39,208
貸倒引当金	△140
投資その他の資産合計	116,739
固定資産合計	160,305
繰延資産	1,624
資産合計	1,206,837
負債の部	
流動負債	
1年内返済予定の長期借入金	25,276
未払金	102,238
未払費用	75,363
未払法人税等	32,950
契約負債	8,635
返金負債	28,242
賞与引当金	52,008
その他	27,443
流動負債合計	352,158
固定負債	
長期借入金	78,313
資産除去債務	8,732
退職給付に係る負債	9,326
固定負債合計	96,371
負債合計	448,530
純資産の部	
株主資本	
資本金	268,553
資本剰余金	218,553
利益剰余金	271,497
自己株式	△297
株主資本合計	758,306
純資産合計	758,306
負債純資産合計	1,206,837

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
営業収益	
営業収益	855,652
営業費用	
営業費用	825,795
営業利益	29,856
営業外収益	
受取利息	350
受取手数料	295
営業外収益合計	646
営業外費用	
支払利息	549
株式交付費償却	583
その他	24
営業外費用合計	1,157
経常利益	29,345
税金等調整前中間純利益	29,345
法人税、住民税及び事業税	27,825
法人税等調整額	△36,757
法人税等合計	△8,931
中間純利益	38,277
親会社株主に帰属する中間純利益	38,277

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
中間純利益	38,277
中間包括利益	38,277
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	38,277

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	29,345
減価償却費	3,529
株式交付費	583
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△73
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,512
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,586
受取利息及び受取配当金	△350
支払利息	549
売上債権の増減額(△は増加)	1,116
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,596
返金負債の増減額(△は減少)	15,928
未払金の増減額(△は減少)	31,575
未払費用の増減額(△は減少)	8,980
前払費用の増減額(△は増加)	△22,968
未払消費税等の増減額(△は減少)	△25,479
その他	△902
小計	50,338
利息及び配当金の受取額	345
利息の支払額	△682
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△25,956
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△6,889
貸付けによる支出	△1,404
敷金及び保証金の差入による支出	△5,406
その他	△644
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,345
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△12,642
株式の発行による収入	984
自己株式の取得による支出	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,760
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,060
現金及び現金同等物の期首残高	761,025
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7,193
現金及び現金同等物の中間期末残高	766,157

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	シニアライフ サポートサービス	シニアホーム コンサルティングサービス	
営業収益			
外部顧客への営業収益	713,112	142,539	855,652
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	13,548	—	13,548
計	726,660	142,539	869,200
セグメント利益又は損失(△)	△41,360	71,173	29,813

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	29,813
セグメント間取引消去	43
中間連結損益計算書の営業利益	29,856

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

【固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【のれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来「シニア関連サポート事業」のみの単一セグメントでありましたが、2024年9月に株式会社ケアサンクを設立したことを踏まえ、笑美面で行っている事業を「シニアライフサポートサービス」、ケアサンクで行っている事業を「シニアホームコンサルティングサービス」と定義いたしました。

これにより、単一セグメントから「シニアライフサポートサービス」と「シニアホームコンサルティングサービス」の2区分により開示しております。